
クリスマスイヴ1224

とりすた

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマスイヴ1224

【Nコード】

N1217J

【作者名】

とりすた

【あらすじ】

一万年後のクリスマスを『僕』を通して書いてみました。クリスマスイヴにちなんで1224文字制限してみました。2009年ギフト企画参加作品です。

西暦が地球歴になって七百年。汎地球人類圏は、その中に恒星を十二個を含むまでに拡大していた。

僕は森の中を歩いてきた。とても気持ちがいい。

頭が固い奴らは不合理だとか言うのだろうけど、天気が良いのだから歩かない方が馬鹿だ。

目的地に向かう間『地球歴ってなんだろう』なんて事を思ってた。回顧趣味な奴らは、聖地を忘れない為だとかいうけど、見たことない星を聖地って言われてもね。

いや知ってはいるんだよ。人類発祥地だっというのよ。

でも知識や写真でしか見たことが無い星なんて、興味がなくて当然だろ？

そんな益体もない事を考えながら森を抜けると、第三等級的人格が管理している花畑が見えて来た。

とても立派なのに誰も来ないなんて、もったいない話だ。

僕は用意していたレースのリボンで花束を作った。

今日はクリスマスらしいし、こんなプレゼントもいいだろう。

花束なんて見たことがないからこれでいいのか判らないけど、よしとしよう。

電子情報の倉庫の奥に隠れていた、忘れられた慣習なんだ。間違ってもともし興味なんてない。

こればかりは僕も、頭の固い奴らを馬鹿に出来ない。一万年前に死んだ人間の誕生日を祝って、何が楽しいんだか。

まあプレゼントを贈るって行為には、興味が沸くけどね。だから変わり者って言われるんだらうな。

僕は自嘲しつつ森を後にした。

街に入ってから、素直にリニアレールを使った。
街にいるのに使わないのは、変わり者や馬鹿を通り越した愚か者
だけだ。

リニアレールは素晴らしい速度で大陸を横断し、僕を次の目的地
へと運んだ。

白一色の巨大な箱。それが僕の仕事場であり、プレゼントを贈り
たい人が居る場所。

幾度となく繰り返される認証チェックを終え、僕は中心区画に着
いた。

そこに不老化処置がされた彼の玉座が設置され、彼も設置されて
いた。

「今日の調子はどうだい」
返答はない。

意識がない彼が返事をするわけがない。彼は二百年もの間、極彩
色の管に繋がれている。

僕たち機械が、何の為に作り出されたかを忘れない為だけに生か
されている。

僕たちに遺された、たった一人の人間。僕らの奉仕相手。
僕は花束を彼の手元に置いた。

プレゼントはこれで終わり。クリスマスカードとかもあつた方が
良かったかな？

そう考えて電子情報にアクセスする。けど、そんな時に限って邪
魔が入るんだ。

《P A C - 3 予定より十分遅れていますよ》
ほらね。

都市管理頭脳の耳障りな電波が、うるさくせつつついてきた。
これだから頭が固い奴は嫌なんだ。

今日はクリスマスだぞ、多少は大目に見ろよ。

《PAC-3 十分遅れています。次の行程に移りなさい》
はいはい判りましたよ。

本当に融通の効かない奴だ。

僕みたいに生体部品を使えば、ちょっとは頭が柔らかくなるのかな。

僕は肩を竦めながらも玉座の間を出た。

部屋を出る前に、もう一度彼を見る。

花束は彼の手の中であつた。

「メリークリスマス」

彼が笑つた気がした。

さて、今後はクリスマスツリーでも作るうか。モミの木なんてあつたかな？

(後書き)

初めての一人称です。感想お待ちしています。
ちなみに。

これは一度、間違っつて削除したものを再構成したものです。前とエ
ンディングや細部が違うのはそのためです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1217j/>

クリスマスイヴ1224

2010年10月10日12時30分発行